

# 札幌学院大学社会情報学部研究業績（2010 年）

2010 年 1 月～12 月 自己申告のもののみ

## 井上芳保

### A：著書

- \* 井上芳保：「構築される健康不安と犯罪不安を問い直す」山之内靖・島村健一編『21 世紀への挑戦 第一巻 哲学・社会・環境』日本経済評論社，第 5 章，pp.134-164，2010 年 7 月。

### B：雑誌

- \* 井上芳保：「健康不安社会の再検討のための暫定的覚書」札幌学院大学総合研究所『社会情報』Vol.19 No.2，pp.1-16，2010 年 3 月。

### C：講演・報告

- \* 井上芳保：「現代の若者たちの性意識を再考する——「セックスは楽しいことだから高校生もやりなさい」でいいのか？」性教育協議会いしかりサークル学習会，札幌市男女共同参画センター，2010 年 2 月 20 日。
- \* 井上芳保：シンポジウム「ベーシックインカムを検証する——どんな社会にしたらみんなの幸福が増すのか」コメンテータ報告 2009 年度科学研究費補助金間接経費による研究活動活性化事業，札幌学院大学，2010 年 3 月 7 日。
- \* 井上芳保：「「死んだ時の自分」への想像力のために——映画『おくりびと』の臨床社会学的考察から」，深川西高校，2010 年 10 月 22 日。
- \* 井上芳保：「女を従属させて生きる男の労働と自立をどう問うべきか——「ボクが妻子を食わせてきた」意識の近未来予測を中心に」，日本社会臨床学会 2010 年度秋合宿報告，熱海いでゆ荘，2010 年 11 月 6 日。
- D：その他
- \* 井上芳保：書評『精神科セカンドオピニオン』『このままでいいはずがない精神医療の

ために」日本社会臨床学会編『社会臨床雑誌』18 巻 1 号，pp.134-137，2010 年 4 月。

## 大國充彦

### C：講演・報告

- \* 大國充彦：「戦後北海道における社会調査史の再構成とデータアーカイブの構築(1)——「社会調査史の博物館」としてのリージョン拠点データアーカイブの構築——」，日本社会学会第 83 回大会自由報告，名古屋大学，2010 年 11 月 7 日。

## 小内純子

### B：雑誌

- \* 小内純子：「戦後北海道における家族社会学の展開」札幌学院大学 SORD プロジェクト，pp.44-55，2010 年 3 月。
- \* 小内純子：「『社会的企業』による地域づくり活動と住民自治(2)——スウェーデンイエムトランド県トロングスヴィーケン地区を事例として——」札幌学院大学総合研究所『社会情報』Vol.19 No.2，pp.37-52，2010 年 3 月。
- \* 小内純子：「持続可能なコミュニティ FM 放送局経営の可能性」札幌学院大学総合研究所『社会情報』Vol.20 No.1，pp.15-34，2010 年 12 月。

### C：講演・報告

- \* 小内純子：シンポジウム「地域メディアとコミュニティの関係性」コーディネーター，第 58 回北海道社会学会大会，北海道教育大学函館校，2010 年 6 月。

### D：その他

- \* 小内純子：書評 山岸治男『日本農村における後期中等教育の展開』『村落社会研究ジャーナル』第 16 巻 第 2 号，pp.53-54

2010 年 4 月.

### 小池英勝

#### **A：著書**

- \* 小池英勝, 中村永友, 石川千温:『レポート・プレゼンが楽々! パソコン活用技術』, ムイスリ出版, 2010 年 1 月 26 日.

#### **C：講演・報告**

- \* 小池英勝, 赤間 清:「等価変換計算モデルに基づく正当な並列計算を行うための言語処理系の開発」, 情報処理学会プログラミング研究会(研究会発表), 電気通信大学, 2010 年 3 月 16 日.

### 高橋 徹

#### **B：雑誌**

- \* 高橋 徹:「紛争はなぜ終わらないのか——K. C. マトウシェクの紛争システム論——」, 札幌学院大学総合研究所『社会情報』Vol.20 No.1, pp.1-13, 2010 年 12 月.

#### **C：講演・報告**

- \* 高橋 徹:「集合知としての社会情報学——科学とコミュニケーションの間で」, 第 20 回社会と情報に関するシンポジウム「集合知と社会情報学: 社会情報学の構築を目指して」(札幌学院大学社会情報学部), 札幌学院大学社会連携センター, 2010 年 9 月 8 日.
- \* 高橋 徹:「市民の暮らしと情報メディア」

室蘭市民講座——講演と音楽の夕べ(札幌学院大学), 室蘭市民会館, 2010 年 9 月 17 日.

- \* 高橋 徹:「コミュニケーション・システムとしてのテロリズム——社会システム理論の研究潮流——」, 日本社会学会第 83 回大会自由報告, 名古屋大学, 2010 年 11 月 7 日.

### 高田 洋

#### **C：講演・報告**

- \* 高田 洋:「社会参加と社会意識——日本と韓国の 6 地域の比較分析——」, 北海道社会学会, 北海道教育大学函館校, 2010 年 6 月.

### 早田和弥

#### **B：雑誌**

- \* Hayata, K.: A time-dependent statistical analysis of the large-scale municipal consolidation, Forma, Vol.25 No.1, pp.37-44, (2010).

### 森田 彦

#### **C. 講演・報告**

- \* 森田 彦: A Study on the two-nucleon correlations configuration in light nuclei, 第 23 回北海道原子核理論グループ研究会, 北見工業大学, 2010 年 10 月 10 日.